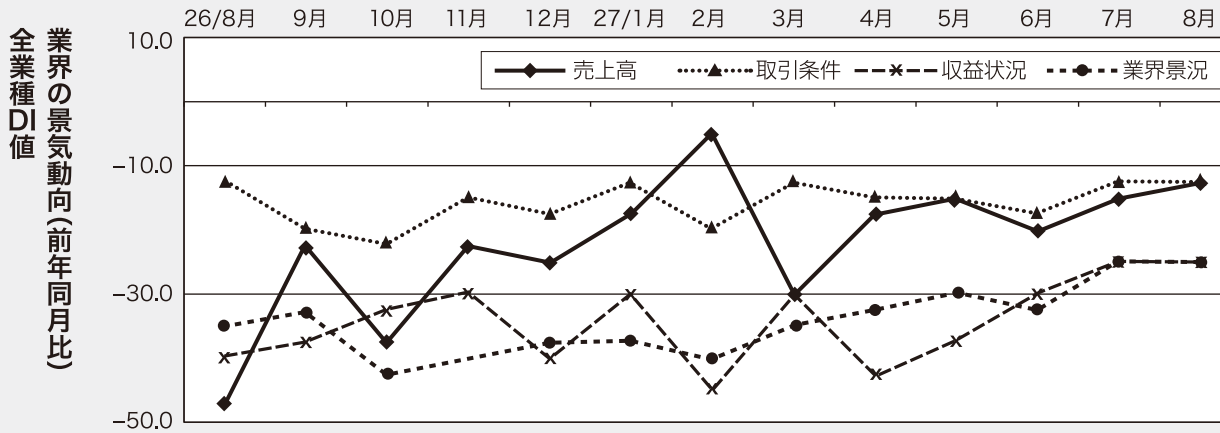


◆ 平成27年8月度 情報連絡員報告 ◆



	26/8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	-20.0	-15.0	-12.5	2.5
取引条件	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	0.0
収益状況	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	-30.0	-25.0	-25.0	0.0
業界景況	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	-32.5	-25.0	-25.0	0.0

平成27年8月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」が2.5ポイント改善し、他の項目は変化がなかった。製造業は低調なまま推移している業種が多く、原材料費を商品価格に転嫁できない、消費税増税後の市場が冷え込んでいるなど、厳しい状況が続いているとの声もある。非製造業では猛暑が影響し、家電小売業、石油小売業、旅館業などが好調であったが、短い夏であったので、9月以降の業況を注視していく必要がある。

8月の売上は、昨年度と比べてやや増加(伊賀焼)

具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	醤油味噌	中国によってか、一時円高傾向となったが、また戻りつつあり、改善までは望めない。特に変化もなく相変わらず低調である。10月1日は「醤油の日」で、品評会の表彰式などがある集いが東京で行われる。
	木材	昨年の消費税増税後の市場の冷え込みは続いており、住宅着工数が伸びていない。
	伊賀焼	8月は昨年度と比べてやや増加傾向で、売上も少し増加している。季節柄、土鍋や食器などが少し売れたようである。今後も秋に向けて土鍋や食器が売れることを期待する。
	輸送機器(北勢)	大手自動車メーカーでは夏休みを当初予定よりも増やすなど、相変わらず生産調整が続いているが、10月以降は休日振替をして生産数の挽回を予定している。
非製造業	家電	梅雨明け後に猛暑が到来し、夏物商品(エアコン・扇風機)や白物家電製品はお盆まで好調に推移してきた。地域電器専門店では、受注商品の早期取り付けをするため、日夜エアコンを中心に工事・配達に追われ、時間との闘いの日々であった。8月後半は、天候不順もあり急転し、商品の動きは鈍い状況である。
	熊野	毎年第一日曜に商店街内で開催される和太鼓フェスは今年で20年目を迎え、大勢の観客で賑わった。併催イベントとして開催されたビアガーデンと物産展も昨年以上の売上をあげ大いに盛り上がった。
	内装工事業	8月も引き続き売上等の状況は好調で、前年対比も増加となった。9月は盆明けなどによりこの流れが一時的に止まる可能性がある。
	トラック	例年通りお盆の期間、企業の集中休業もあり、荷物の輸送量は減少した。消費者関係の荷物輸送量は前年並みで推移している。